

学べるトラベル

11



塩屋埼灯台



←丘の上は、展示室があり、歴史などが学べる



←「のぼれる灯台」として、塔頂部まで上がれる

初点灯は一八九九（明治三十二年）十二月十五日。来年には百二十五周年を迎える長い歴史を持っているのが、白亜の塩屋埼灯台。いわきの海の安全を見守り続けてきた、海上交通の要衝だ。

日本全国で十六カ所ある、「のぼれる灯台」のひとつ。五七年に公開され、大ヒットした木下恵介監督の映画「喜びも悲しみも幾年月」のモデルとなっている。

歌手、美空ひばりの名曲「みだれ髪」の歌詞中に出てくる、「塩屋の岬」の舞台としても知られ、歌碑も建ち、聖地巡礼の元祖ともいえる、観光の拠点だ。

地上から塔頂部までの高さは二十七メートル。海面から灯火までの高さは七十二メートルで、実際に灯台上部までのぼると、真下に海面を見下ろして、ちよつとしたスリルを味わうことができる。

参観事業の運営は、公社燈光会が行っており、灯台までの階段部分、周辺の整備、草刈りなどは地域のボランティアが協力して、景観が保たれている。



「れんが」専門の博物館、京都府舞鶴の「赤れんが博物館」から、貴重なれんがとして調査された。工事に使用する際に使い勝手がいろいろ、細かい溝が掘られている点の特徴。



明治期の赤れんが

塩屋埼灯台データ

- 住所＝いわき市平薄磯宿崎34
- 参観料＝300円（小学生以下無料）
- 参観時間＝平日（通年）、10～2月の土日祝：9～16時（入場は30分前まで）、3～9月の土日祝、GW期間、お盆休み9時～16時半（同）
- 電話＝0246-39-3924



駐車場近くの広場には、歌碑なども設置されている

→星空観覧会では、夜間に稼働する灯台を間近で見ることができる

三六〇度の大パノラマ

コロナ禍で約六割まで低下した入場者数だが、今年度は回復途上。灯台支所長を務める小野季子さんは、「団体旅行の大型バスなどが立ち寄りでも、時間調整程度で灯台までのぼって、参観する余裕はないというのが今の旅行形態の現状」と、分析。

個人客を中心に「のぼれる灯台」の魅力を最大限にアピールしようと策を練る。例年、七月の海の日前後や、夏休み期間中、コイの代わり

にカツオをモチーフにした「かつおのぼり」の掲揚、星空観覧会などを実施。灯台記念日の十一月一日前後には、無料参観や関連イベントなどを行い、集客と広報活動に努める。

二〇一九年に開かれた百二十周年記念式典では、漫画家の松本零士さんから、自身の代表作のひとつ、「銀河鉄道999」が灯台上を走るイラストが寄贈され、その展示を見るためにファンが訪れることもあるという。

同灯台の魅力は、なんといっても塔頂部までのぼって、三六〇度ぐるりと周囲を見晴らすことができる、パノラマの絶景だろう。光の届く範囲が、二十二カイリ（約四十一キロ）ということは、それだけ遠くまで海上を見渡せるということ。

明治期から引き継がれてきた海の安全の歴史、絶景を学び、楽しもう。



→灯台上部からは薄磯、豊間など三六〇度の大パノラマ

(和)



食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

お歳暮ご予約承り中

創作かまぼこ

かねまん 本舗

https://www.kaneman.net/
0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■本店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く
恵比寿様 大黒様



恵比寿様



大黒様

■オンラインショップ
www.kaneman.net
インターネットでのご注文はこちら▶

